関西福祉大学
スクラップ・切り抜き分　附属図書館
本学関連記事
26年　11月30日（日）

聴覚の有無超え理解を

ろう者の女優 忍足さん 夫と講演

赤穂・関西福祉大 市民ら100人に訴え

耳が聞こえないろう者の女優として初めて日本映画で主演した忍足亜希子さん(44)と、夫の俳優三浦剛さん(39)が29日、赤穂市新田の関西福祉大学で「聴者の役者とろう者の役者の生活」と題して講演した。看護師を志す学生や市民約100人に、聴覚の有無を超えて伝え合う大切さを伝えた。

（小林伸哉）

忍足さんは、銀行員などを経て、1999年に映画「アイ・ラヴ・ユー」にろう者の役でデビュー。舞台共演を機に「演劇集団キャラメルボックス」で活躍する三浦さんと2009年に結婚。女優を続けながら、12年に出産した長女を育てる。

講演会は、同大看護学部生の研究会が主催。三浦さんは「（忍足さんに）一目ぼれし、『もう一回』と教えてもらって少しずつ手話を覚えた」と習得の過程を披露。育児や台本のセリフ覚えも、夫婦で手話を通じて支え合うといい「2人で『わからない』を解決するのが楽しい」と話した。

忍足さんは映画出演のきっかけを「テレビでろうあ者は悲しい存在として描かれていたから、明るくイメージを変えたかった」と回顧。出産時の病院の心遣いにふれ、看護師志望の学生らに「『ありがとう』などの手話を覚え、優しい気持ちで接して」と呼び掛けた。

耳が聞こえない赤穂市尾崎の中村千穂さん(49)は「子育てや手話の普及に頑張る励みになった」。同大4年の藤原菜美さん(23)は「表情を読み、伝えるコミュニケーションを大切にする看護師になりたい」と話した。

豊かな表情と手話で講演した三浦剛さん（左）と忍足亜希子さん＝関西福祉大学

神戸新聞
'14.11.30

複写はご遠慮ください。